

**製品名: CITED2 (17H2) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe08830**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	28kDa

**抗原情報**

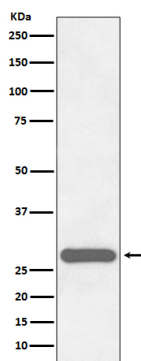
遺伝子名	CITED2
別名	CITED2; MRG1; MRG-1; MSG-related protein 1; ASD8; VSD2; MSG1-related gene 1; p35SRJ;
遺伝子 ID	10370.0
SwissProt ID	Q99967
免疫原	ヒト CITED2 の合成ペプチド

**背景**

p300/CBP を介した転写複合体の転写共活性化因子です。TFAP2 転写因子と p300/CBP 転写共活性化因子複合体を結びつける橋渡しとして機能し、TFAP2 を介した転写活性化を刺激します。SMAD/p300/CBP を介した転写共活性化因子複合体との結合により、TGF- $\beta$  シグナル伝達を正に制御します。ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 PPARA の転写活性を刺激します。p300/CBP を介した転写複合体の転写共活性化因子です。TFAP2 転写因子と p300/CBP 転写共活性化因子複合体を結びつける橋渡しとして機能し、TFAP2 を介した転写活性化を刺激します。SMAD/p300/CBP を介した転写共活性化因子複合体との結合により、TGF- $\beta$  シグナル伝達を正に制御します。ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 PPARA の転写活性を刺激します。エストロゲン受容体を介したエストロゲン依存性トランス活性化を促進します。転写コリプレッサーとしても作用し、転写因子 HIF1A または STAT2 と p300/CBP 転写コアアクチベーター複合体の結合を阻害します。SRY の転写活性化を刺激することにより、性の決定と初期の生殖腺の発達に関与します。胚発生中の左右パターン形成の制御に関与し、左側板中胚葉 (LPM) における NODAL 介在遺伝子転写の転写活性化を強化します。副腎皮質と副腎腺原基 (AGP) の分化に必須であり、WT1 介在転写活性化を刺激して、核ホルモン受容体 NR5A1 プロモーター活性をアップレギュレーションします。PITX2 P1 プロモーター領域のクロマチンと関連しています。

## 研究分野

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物における CITED2 発現のウェスタンブロット分析。